

## 京都あすかアカデミアの自己点検及び自己評価の実施について

実施時期： 2022年3月31日

実施時間： 2021年4月1日～2022年3月31日

実施主体： 学校委員会

委員会の構成員： 事務長を委員長として、以下常勤の全教職員で構成する

事務長 田中和成

事務員 4名

教員 9名(5名専任)

点検・評価項目： 法務省による「日本語教育機関の告示基準」を参考とし、別紙の基準及び点検項目に沿って5段階評価により点検・評価の行う

《評価基準》

1. 改善が必要
2. 取り組みを検討中
3. どちらともいえない
4. ほぼ達成している
5. 達成している

結果の公表： 自己評価報告書については、事務長決済とし、決済後、本校の設置者である 古田浩一 へ提出したうえで、毎年8月末日までに当校ホームページにて評価報告書を公表する

### 【自己点検及び自己評価項目】

基準1 教育理念・目標・育人人材像		
1-1	理念・目標・人材育成像が定められているか	5
1-2	学校の特色は明確か	5
1-3	学校の将来構想は抱いているか	5

・理念・教育目標について

パンフレット、ホームページに掲載されており、閲覧が可能な環境にある。

教職員の研修、学生に対してオリエンテーション時に周知している。

基準2 学校運営		
2-1	学校の理念に沿った運営方針や事業計画が定められているか	5
2-2	学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか	5
2-3	組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システムは確立されているか	5
2-4	危機管理体制は整備されているか	5
2-5	情報管理などが適正に行われ、業務の効率化を図れているか	5

・学校運営

本校の運営体制は、日本語教育機関の告示基準を満たしておる。

本校の運営方針や事業計画は年度計画として定めており、各年見直しを行い、明文化して共有しておる。

また、組織運営、人事、財務管理に関する規定を定めしておる。

基準3 教育活動		
3-1	教育理念に沿ったカリキュラムが体系的に編成されているか	5
3-2	成績評価や修了認定の基準は明確になっているか	5
3-3	育成目標に向けた授業を行うことができる教員を確保しているか	5
3-4	教員の指導方向上のための取り組みは行われているか	5
3-5	カリキュラム改善に向けた取り組みが行われているか	5
3-6	資格取得のための指導体制は整っているか	5

・教育活動

日本語の習得度に基づきクラス編成を行い、教務主任が中心に全体のカリキュラム編成と授業日程の作成にあたることで、体系的な教育活動がはかれるように努めている。

また、日本語能力試験、日本留学試験に対応した授業展開を行っている。

基準4 教育成果		
4-1	生徒の日本語能力の向上が図られているか	5
4-2	進学率及び就職率の向上が図られているか	5
4-3	退学率の低減が図られているか	5
4-4	卒業生や在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	5

・教育成果

教職員が、学生の情報を共有し、学生に対して綿密なケアをしておる。

また、定期的に学生面談を行うことにより退学予防にも役立っており。

基準5 学生支援		
5-1	学習や進路指導に対する体制は整備され、機能しているか	5
5-2	奨学金などの経済的な支援が整備され、機能しているか	5
5-3	健康管理を担う組織体制があり、機能しているか	5
5-4	学生寮や生活環境への支援が整備され、機能しているか	5
5-5	防災や緊急時における体制が整備され、機能しているか	5
5-6	保護者や在日支援者と適切に連携しているか	5
5-7	卒業生の支援体制はあるか	5

・学生支援

経済状況が不安定である学生が増加してきており、本校の奨学金制度以外に他機関の奨学金制度の検討を行っている。

また、学費等の分割納入制度も行っております。

基準6 教育環境		
6-1	学校施設や設備は十分であるか	5
6-2	学校施設や設備は安全に整備されているか	5
6-3	図書や教材は適切で最新のものを取り入れているか	5
6-4	学習効率を図るための環境整備がなされているか	5

・教育環境

安定的に教育活動を継続するための校舎の環境が十分に整備されている。

教材資材は、主に教員室内の書棚に図書及び関連資材を整備しておる。

学習環境としては、図書室を設置し、日本語学習はもとより、受験勉強での参考図書を学生が自由に閲覧できる状況にしておる。併せて保健室を設け学生の急な体調変化に備えるとともに、医療措置が必要な場合は医療施設へ紹介している。

全教室には、窓があり、十分な照度があるとともに換気も万全である。エアコンや換気扇なども設置されてい

る。空き教室を学生に自習室として提供しておく。

基準7 学生募集と受け入れ		
7-1	学生募集活動は適正に行われているか	5
7-2	学生募集活動において学校の情報を正確に伝えられているか	5
7-3	入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5
7-4	生徒納付金の額は適正か	5
7-5	適正な定員設定在籍者数になっているか	5

・学生募集

現地の日本語センターから紹介された学生を面接と筆記試験により選抜しておく。

また学生の紹介を受けたセンターについては、入学後の学生の状況等も踏まえて翌年度以降の提携を随時見直し、質の確保に努めている。

基準8 財務		
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	5
8-2	予算や収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	5
8-3	財務について会計監査は適切に行われているか	5
8-4	財務情報公開の体制はできているか	5

・財務

定員の確保に努めており、経営基盤は安定化している。

基準9 法令順守		
9-1	入管法を中心とした各種法令、設置基準等と適切な運営がなされているか	5
9-2	個人情報保護に対する取り組みや対策が行われているか	5
9-3	自己点検・自己評価を実施したうえで結果を公表し、その改善を努めているか	5
9-4	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

・法令順守

個人情報については、学校全体で保護を図っている。特に、個人データ、外部秘データ取扱いの注意は周知徹底、意識啓発を継続的に行っている。

基準10 社会貢献		
10-1	学校の資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	5
10-2	学生のボランティア活動を奨励し、支援する体制があるか	5

・社会貢献

地元、自治会主催行事（運動会、防災訓練、夏祭り等）に参加し、地域住民との交流を図ることで、学校の存在を周知している。

また、本校の施設（教室）を開放し、自治会の会議等に利用されている。